

平野祐也の教育に関する取り組み①

高等学校で新設された「情報」科目への対応について

令和4年度から高校で新設された「情報」科目は、今年度入学した生徒から大学受験科目に追加されます。それに伴い、学校現場の教員数や指導内容を整備すべきと提言しました。現状としては、今年度中に県立高校にプログラミング教材を配布すると共に、教員研修会も継続的に開催して行きます。教員採用試験においても教員の確保を図りながら高校での教育内容を充実させて行きます。



岐阜各務野高校における「AIチャレンジ」の授業風景

県議会に当選してから3年以上が経過しました。議員の大きな武器として、県議会開会中に行われる「一般質問」という時間があり、そこで県政に対して質問や提案が出来ます。平野祐也の基本政策の三本柱に従って、これまでの一般質問の中から、現在既にカタチになりつつあるもの、これから取り組んで行きたいものをご紹介します！

平野祐也

ひらの ゆうや

その質問で岐阜県が変わった？

県政4年目の政策検証

教育編

平野祐也の基本政策 その2

教育は場所を選ばない！



世界に誇る教育環境を岐阜に

平野祐也の教育に関する取り組み④

中学校の部活動の地域移行について

令和5年度以降段階的な中学校部活動の地域移行が決定しているのにも関わらず、県としての方針が市町村や競技団体に伝わっていない点を指摘しました。現在の動きとしては、令和4年度中にガイドラインを定めることが決まり、地域部活動推進会議や、あり方検討会の情報共有がスタートしています。今後実際の移行に向けて詳細設計を作ると共に、市町村サポートの仕組みを整えて行きます。地域や競技によって大きく地域移行のカタチが異なる状況も想定され、今後も継続的にフォローして行きます。

具体的な方策

I. 休日の部活動の段階的な地域移行

- (令和5年度以降、段階的に実施)
- 休日の指導や大会への引率を担う地域人材の確保 (育成・マッチングまでの民間人材の活用(有償・無償)の仕組みの構築、兼職兼業の仕組みの活用)
- 保護者による費用負担、地方自治体による減免措置等と国による支援
- 拠点校(地域)における実践研究の推進とその成果の全国展開

II. 合理的で効率的な部活動の推進

- 地域の実情を踏まえ、都市、過疎地域における他校との合同部活動の推進
- 地理的制約を越えて、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるICT活用の推進
- 主に地方大会の在り方の整理(実態の把握、参加する大会の精選、大会参加資格の弾力化等)

スポーツ庁HP「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」より引用

平野祐也の教育に関する取り組み②

各務原市立特別支援学校の新設のための教員確保について

各務原市に特別支援学校高等部はありますが、小中等部はありません。その結果、小中等部の生徒は関市や羽島市の特別支援学校にスクールバスで1時間程度かけて通っています。県内の特別支援学校に通う生徒数は、過去の見通しを上回って増加しているのが現実です。保護者の切実な声と市の要望を岐阜県に届けた結果、令和元年に県が設置を認め、令和7年度に小中等部が鵜沼中学校南側、鵜沼羽場町に開校予定です。新設にあたって大きなハードルである教員確保について、岐阜県として計画的な採用と、特別支援学校教員免許の保有率向上を約束して頂きました。今後開校に向けてしっかりとフォローして行きます。

外観イメージ



各務原市新特別支援学校建設かわら版より引用

詳細資料



平野祐也の教育に関する取り組み③

学校教育現場における外国人生徒に対する多言語化対応について

日本において外国人の人口比率は高まっています。特に東海3県は過去から製造業が集積し、雇用も多いことから全国比でも比率は高いものとなります。そんな中、過去を振り返ると特定国籍の方が特定地域に「集住」することが多かったですが、最近は「多言語化」「散在」がキーワードとして挙げられています。こうした中で学校と保護者とのやりとりについて、色々な翻訳ソフトや技術が生まれてきている中で、学校現場負担の低減の為に調査・研究すべきと提言しました。当該生徒にとっても将来の進路等の相談をするにも、保護者の理解が無いと中々難しい中で、学校とのコミュニケーション円滑化の選択肢の一つとして検討して貰いたいと考えています。引き続きフォローします。

学校の連絡革命!先生たちの働き方が変わります!



教育についての活動報告をぜひご覧ください!



答え:アーモンドの花

市内中学校で実証中の民間翻訳ソフトの一例「E-tra ノート」資料より抜粋

岐阜県議会議員 平野タイムズ

岐阜県議会議員

VOL. 24



来年の干支は「癸卯（みずのと・うい）」

今年も残すところあと僅かとなりました。皆さまにとって今年はどうな一年だったでしょうか。さて、2023年の干支は「癸卯（みずのと・うい）」です。「癸」は「物事の終わりと始まり」を表す他、「種が大きくなり、春間近でつぼみが開く直前」という意味があるそうです。「卯」にも「冬の門が開き飛び出す」という意味があるそうです。「癸卯」の2023年は「これまでの努力が花開き、実り始めること」という意味があるそうです！僕自身、当選から4年目を迎え、色々な提言が花開くように2023年もしっかりと頑張ります！



この花はなんの花でしょう?? 正解は裏面へ!

「オモシロイ街へ」... いろいろなイベント実験中!

僕自身の政治家としてのモットーの一つとして、「新しいものを創るだけでなく、今あるものを創り直す」ということがあります。それは単純に「コストの話もありますが、「違う切り口で見るとオモシロイ使い方がある」と感じるものが多いからです。特に公共施設に関しては、民間のアイデアが活かせるならどんどん開放すべきだと考えています。そうした事例の一つが、各務原市では既に定着している11月3日「マーケット日和」というイベントであり、11月5・6日の「日本ライン・KISOGAWA River to Summit」だったりします。「マーケット日和」は今回学びの森や市民公園を飛び出して、那加の商店街にも拡大されました。木曾川サミットは、県と木曾川流域自治体が連携したイベントで、鶴沼南町の「木曾川遊歩道」にて初開催されました。



木曾川遊歩道「川辺おしゃべり Bar」の様子



マーケット日和「那加地区商店街」の様子

日常で触れている「ちょっと良い景色」で非日常なイベントを開催したり、各務原市や岐阜県、日本って良いなあと思って貰える様な空間や日常を創って行きたいと思っています。その際にハードルとなるルールや規制はなるべく取り払いたいと思っていますので、皆さまのアイデアをぜひお寄せください。

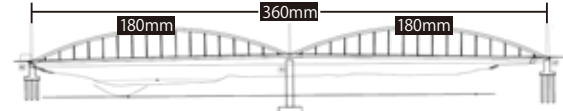
平野祐也の基本政策

- その1 産業

美濃を制すものは天下を制す!
“ど真ん中”岐阜を産業拠点に
- その2 教育

教育は場所を選ばない!
世界に誇る教育環境を岐阜に
- その3 創造

規制だらけの現代こそ、織田信長の発想で!
現代版楽市楽座で地域を再活性化



11月22日から25日にかけて新しい川島大橋の計画・工事説明会が開催されました。12月1日より新しい川島大橋の設置工事に着手します。既存の橋の撤去を行います。新しい橋は今までとは異なり、「アーチ型」の橋となる予定です！車道や歩道も少し広がる予定です。また進捗状況についてご報告します！

川島大橋
早期復旧への道
VOL.9



川島大橋復旧工事について (国土交通省)



平野祐也のプロフィール
1984 (S59)年12月生まれ
緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
▷名古屋大学法学部卒
▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶴沼山崎町在住。

発行日
2022年 冬至号

平野祐也

ひらのの ゆうや

各務原から創ろう。岐阜県の未来を。



LINE公式アカウント

最近の活動は **平野祐也** で検索!